



総合診療 ★ 家庭医療 全国公開セミナー in Tsukuba



総合診療や家庭医療に関心のあるあなたへ

ドクターGとして知られるようになった総合診療医、でも仕事内容や総合診療医になった後のことなどは、意外と知られていないかも…そこで、国立大学としては全国最大規模の総合診療グループを擁する筑波大学が公開セミナーを実施します！筑波大生企画や交流セッションなど内容も盛りだくさん♪ 翌日（23日(日・祝)）には水戸協同病院で「臨床推論 CUP ☆ 第1回 水戸のくプロレス MGH 争奪杯（仮）」も開催します。秋の日の週末、ちょっと茨城まで足を運んでみませんか。



開催案内

日時：平成26年11月22日(土)

12:15 開場 12:30 開始

対象者：日本全国の医学生と医療系学生、
初期研修医、その他内容に興味のある方

参加費：無料（セミナー部分）

懇親会費（学生@2,000円、社会人@3,000円）は、当日受付にてお預りします。

場所：筑波大学附属病院 1階
けやきプラザ 他

* 宿泊の手配は、各自でお願いいたします。尚、翌日つくばマラソンが予定されていることから、早目のご予約をお薦めします。

* 内容等詳細は、決まり次第事業HPに掲載予定
http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/mirai_iry/

お問合せ先：筑波大学附属病院
総合診療医養成事業推進支援室

E-mail: mira.iry@un.tsukuba.ac.jp

電話：029-853-3339（担当：早川・稲葉）

プログラム（予定）

12:30~13:00 【開会式】

13:00~14:30 【第1部】

- ◆セッション0：患者中心の医療の方法
- ◆セッション1：緩和医療・終末期医療
- ◆セッション2：初期救急対応

14:30~15:00 休憩 & 交流タイム1

15:00~16:30 【第2部】

- ◆セッション3：多職種連携
- ◆セッション4：総合診療と初期研修
その後のキャリア
- ◆セッション5：医療面接

16:30~16:45 休憩 & 交流タイム2

16:45~18:15 【第3部】

全体交流セッション「ワールドカフェ〜
私たちが地域で役に立つためには？」

18:30~ 【第4部】

懇親会&学生企画セッション
学生企画参加者も同時募集中♪



セミナー参加のお申込みは
右のQRコードから⇒



筑波大学総合診療科



イメージ・キャラクター
ジェネラルT先生

プログラム概要(各セッションの内容と担当講師(予定))

12:30~13:00 オープニング

13:00~14:30 <セッション 0or 1 or 2(どれか 1つ選択)>

セッション0:「患者中心の医療の方法」

【内容】患者中心。よく聞く言葉ですが、実際にどのような方法で行うのか、理論的な背景についてご存知でしょうか？家庭医療で用いられている患者中心の医療の方法について楽しみながら学びましょう。

【講師】久野 遙加(筑波大学 総合診療グループ)、大澤 亮(筑波大学 総合診療グループ)、富永さやか(筑波大学 総合診療グループ)

セッション1:「もっと知ろう！緩和ケア」

【内容】あなたは「緩和ケア」を知っていますか？緩和ケアは生命を脅かす疾患に直面する患者さんや家族の QOL を改善するアプローチです。このセッションでは、ロールプレイなどを通じて緩和ケアの実際とその魅力、総合診療医や医療従事者に必要とされることを一緒に考えてみましょう！

【講師】大塚 貴博(筑波大学総合診療グループ、大和クリニック)、東端 孝博(筑波大学 総合診療グループ、大和クリニック)、川島 夏希(筑波メディカルセンター病院)、須田さと子(筑波メディカルセンター病院 緩和ケア病棟師長)、浜野 淳(筑波大学医療連携患者相談センター、総合診療グループ)

セッション2:「初期救急対応！でもここは診療所！？」

【内容】限られた医療資源しかない診療所で救急患者に遭遇したらどうしたらよいの？まず最初に何を考えて、どう動くか！「T&A プライマリ・ケアコース」を参考にみんなで体験してみましょう。

【講師】高木博(大和クリニック)、遠井敬大(川崎セツルメント診療所)、林幹雄(筑波メディカルセンター病院)、稲葉崇(筑波大学 総合診療グループ、筑波メディカルセンター病院)

<休憩> 参加者、講師の交流がしやすくなるよう、休憩に十分な時間を取ります。
厳選した甘味などの提供をする予定です。セッションの準備と同レベルの気合いを入れる予定です。

15:00-16:30 <セッション 3 or 4 or 5(どちらか 1つ選択)>

セッション3:「プロから学べ！多職種連携」

【内容】実際の症例を通じて医師・看護師・ケアマネージャー・薬剤師などがどのように在宅の患者さんに関わっているかを学びます。セッションの最後にお送りするプロ達による多職種カンファレンスの再現は必見！

【講師】山本由布(筑波大学総合診療グループ/笠間市立病院:医師)、木下真里(訪問看護ステーション愛美園:看護師)、小濱伸太(協和調剤薬局在宅訪問薬剤支援室長:薬剤師)、竹江崇(宍戸苑指定居宅介護支援事業所:ケアマネージャー)後閑良平(笠間市立病院:作業療法士)、本多淑恵(笠間市立病院:言語聴覚士)、小曾根早知子(筑波大学総合診療グループ、利根町国保診療所)

セッション4:「総合診療と初期研修、その後のキャリア」

【内容】初期研修医、後期研修医、ベテラン、他分野研修中のフェローなど、年齢、性別、所属の異なる様々な方をお呼びし、みなさんのキャリアについての相談にお答えします！

【講師】吉本 尚(筑波大学 総合診療グループ)、遠井 敬大(川崎セツルメント診療所)、久野 遙加(筑波大学 総合診療グループ)

セッション5:「医療面接」

【内容】ラポール(信頼関係)の構築、患者背景の理解など、言葉では聞いたことがあるかと思いますが、実際に患者さんを前に実践できますか？実際に実習や現場などで患者さんや利用者さんを前にしたとき、「なんとなくやっているけど、これでいいのかな？」と悩んだりする方もいらっしゃるかもしれません。このセッションでは医師と患者の模擬診察を題材に、参加者の方々とディスカッションを行い、学びを深めていきます。明日からの患者さん・利用者さんのケアのために役立つ内容となるかと思えます。

【講師】横谷省治(筑波大学総合診療グループ)、中澤一弘(筑波大学総合診療グループ)

16:45-18:15 <全体交流セッション>

「ワールドカフェ～私たちが地域で役に立つためには？」

【内容】一般(非医療者)の方々、一緒に将来働く多職種の方々に集まっていただき、意見を交わし、交流を持ちたいと思います。地域という広い枠組みの中で、様々な価値観を持つ人と混ざり合い、きりと光る考えを持ち帰っていただければと思います。

【講師】(50音順・予定):大塚 貴博(筑波大学総合診療グループ、大和クリニック)、小曾根早知子(筑波大学総合診療グループ、利根町国保診療所)、川島 夏希(筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)、高木 博(大和クリニック、筑波大学 総合診療グループ)、高屋敷明由美(筑波大学地域医療教育学、総合診療グループ)、遠井 敬大(川崎セツルメント診療所)、浜野 淳(筑波大学医療連携患者相談センター、総合診療グループ)、前野 哲博(筑波大学地域医療教育学、総合診療グループ)、山本 由布(筑波大学 総合診療グループ、笠間市立病院)、吉本 尚(筑波大学 総合診療グループ)

<懇親会学生企画>「学生プレゼン～学生でもここまでやれる！」

「セミナーで勉強するだけじゃつまらない！」「色々学生として、こちらからも発信したい！」という参加者の声を元に、学生自身が発信する場を設けました。皆さんの熱く活動している活動をぜひ参加者で共有してみませんか？

司会: 笹本浩平(京都府立医科大学医学部5年)